

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回図書館協議会
開 催 日 時	令和6年2月7日(水) <input type="checkbox"/> 午前・午後 10時00分から <input type="checkbox"/> 午前・午後 11時25分まで
開 催 場 所	吉川市役所 304・305会議室
出席委員(者)氏名	相内美帆・野上文子・中村典子・馬場重弘・木村嘉男・高野功・二宮秀樹 川上裕子・大塚早希(敬称略)
欠席委員(者)氏名	若林元城(敬称略)
担当課職員職氏名	生涯学習課 課長:岩上勉 同主査:山崎弘輝 同主事:笹原康友 市立図書館 館長:竹林聡 同チーフ:森田幸子
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 議事 (1) 令和5年度利用者満足度調査結果について (2) 令和6年度事業計画(案)について 5 その他 6 閉会 【全て公開】
非公開の理由	なし
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	・次第 ・ <input type="checkbox"/> 資料1 令和5年度利用者満足度調査結果報告書 ・ <input type="checkbox"/> 資料2 令和6年度事業計画書(案)
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	相内美帆・二宮秀樹(敬称略)
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

事務局	1 開会
	2 開会あいさつ
高野会長	－ 会長あいさつ － － 会議録確認者決定：相内委員・二宮委員 －
	3 議事
	(1) 令和5年度利用者満足度調査結果について
高野会長	事務局より説明願う。
事務局	資料1に基づき説明。
高野会長	事務局の説明に対して、意見や質問はあるか。
木村委員	このアンケートは利用者の時間帯を分けて実施しているか。
事務局	各施設にアンケート用紙を設置し自由に取っていただけるようにしている。また、貸出図書のためにカウンターに来た際は、直接ご協力を伺うなど、時間帯を決めて実施しているものではない。
高野会長	回答者には県外の方もいるが、どこから来ているか。
事務局	千葉県野田市や、流山市の方である。図書館には広域利用方法というものがあり、近隣の5市1町や野田市、流山市に在住の方は利用カードを作成が可能である。
中村委員	ただいま説明があった広域利用方法について、私は知らなかったのだが、どのような周知をされているか。
事務局	図書館内に掲示、またHPにて案内している。
中村委員	周知が足りないと感じる。更なる工夫をお願いする。
事務局	承知した。
高野会長	他に質問はあるか。
相内委員	現在、紙のアンケートで実施しているが、電子アンケートに変更するのはどうか。若い世代の回答率の増加に繋がる可能性はあるかと思う。
中村委員	相内委員と同じ意見である。50代以上の回答が多いので、若い世代の回答率が上がる方法というものを考える必要がある。
事務局	おあしす職員とも共有し、世代別の回答率向上を図る。
高野会長	他に質問はあるか。

木村委員	<p>資料1より、今回の調査結果においてWi-Fiが設置されていることや電子図書館の導入について分からないということが課題として上がっているなか、こういった内容を70代以上の方に聞いても、分からないという答えが多いのは推察できる。先ほども話がでたが、若い世代にも回答いただけるよう、門戸を広げる方法を検討してはどうか。また、電子図書館についても時代の流れで導入する自治体が増えてきているが、果たして本当に便利になったのかということそうではない部分もあるかと思う。今回のアンケートでは、電子図書館の導入を促すような設問となっていることから、本来聞きたかったことと乖離してしまっているかと感じたが、この調査結果には市民の思いが詰まっていることも事実かと思うので、しっかりと見極めながらより利用者が満足する施設になるよう反映していただきたい。</p>
事務局	<p>ご意見感謝する。</p>
相内委員	<p>例えば、視聴覚ライブラリーは、資料1からも学生の利用が多いことが分かりWi-Fiといったものを充実させるなど、モデルケースとして運用してみてから、段階的に他の図書館等に移行してみるのはいかがでしょうか。また、電子書籍というものを使ったことがないため伺うが、購入するには高額なものなのか、一度に何人も借りることが可能か、今後ずっと電子図書館で使用できるものか。</p>
事務局	<p>利用期間、一回の貸出で何人読むことができるかについては、その本を扱う図書館で設定可能である。購入金額については、その設定による部分があり、出版社から提示されているものからニーズにあった書籍を選定することになる。また、電子図書館のメリットとしては、劣化がない、延滞がない、物理的なスペースを取らないといったことが挙げられる。</p>
中村委員	<p>電子図書館から電子書籍を借りるというのは、どうやって行うのか。</p>
事務局	<p>各自治体の図書館のホームページにリンクが貼られているので、そちらから読むことができる。文字の拡大や書籍によってはオートリーダーで読み上げといったことも可能である。</p>
高野会長	<p>他に質問はあるか。</p>
事務局	<p>電子図書館について、各自治体の図書館のホームページとは別に、電子図書館用のホームページが用意されている。また、全ての販売用の電子書籍が貸出用の電子書籍化されている訳ではなく、同じように全ての紙の書籍が電子書籍として貸出を行っている訳ではないということを確認する。どのような電子書籍を扱っているかは、各電子図書館のホームページで確認が可能である。</p>

高野会長	他に質問はあるか。 —質問なし—
	(2) 令和6年度図書館事業計画(案)について
高野会長	事務局より説明願う。
事務局	資料2に基づき説明。
高野会長	事務局の説明に対して、意見や質問はあるか。
高野会長	先ほどの資料1、利用者満足度調査結果の中にもカフェコーナーやレストランが欲しいと意見があった。来年度は、カフェコーナーが設置されるということで、利用者にとって嬉しいことである。また、現在開発を進めている、吉川美南駅東口に新しい図書施設ができると聞いたが、どういった予定か。
事務局	現在、検討段階であり定かではないが、美南地区の方も本の受け渡しができるような形は最低限用意することで考えているところである。
中村委員	3点質問する。 1点目は研修について他市町の見学といったことは実施しているか。
事務局	年に2回程度、東部地区の12市町が集まり研究会を行っている。その場において、各図書館の情報交換や、先進的な図書館の見学を行っている。
中村委員	承知した。2点目は資料2の研修体制の中で、「障がい者サービス専門委員会」と記載があるが、どういった研修を行っているか。
事務局	埼玉県図書館協会が主催している研修であり、吉川市からも2名が参加している。内容については、児童で障がいを持つ子へのサポートやサービスについての研修である。また、吉川市が主催している、「あいサポーター研修」には一度は全職員が受講するようにしており、当事者の方の話を聞きながら、必要な対応といったものを学ぶ機会となっている。
中村委員	最後に、来年度にカフェコーナーの設置を予定されているが、車イスの方が利用しやすいような自動販売機の導入や、椅子の設置というものも検討いただきたい。また、照明に関しても明るすぎるだけでは良くないため、色々な方、当事者からの意見を聞き、インクルーシブして作り上げていただきたい。
事務局	ご意見感謝する。 当事者の方からの意見もしっかり取り入れられるよう努めていく。
高野会長	他に質問はあるか。

高野会長

－質問無し－

それでは議事を終了とする。

4 閉会のあいさつ

馬場副会長

－ 副会長あいさつ －

(午前11時25分終了)

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年 3月 15日

署名委員 相内 美帆 (自署)

署名委員 二宮 秀樹 (自署)